

## 1. 外貨預金について

当行では「外貨普通預金」と「外貨定期預金」の2種類の外貨預金をご利用いただけます。

### 外貨普通預金

ご入金、ご出金が  
ご自由にできる  
外貨建て普通預金です。

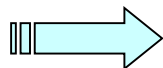
### 外貨定期預金

お預入れ期間 1か月・3か月・  
6か月・1年・1年以内の期日指  
定からお選びいただける外貨  
建て定期預金です。

## 2. 為替変動リスクについて

外貨預金には、為替相場の変動により、  
円貨を外貨にする際(預入れ時)の為替相場に比べ、  
外貨を円貨にする際(払戻し時)の為替相場が円高になる  
と、払戻円貨額が預入円貨額を下回る(円貨ベースで元本  
割れとなる)場合があります。  
(為替変動リスクがあります。)

預入れ時の  
相場よりも



円高



預入れ時の相場(TTS)と払戻し時の相場(TTB)のレート差にも注意が  
必要です。(次項を参照)

## 3. 適用相場について

外貨預金のお取引に適用される為替相場は、主に以下の  
2種類の当行公示相場です。(※)

### 【TTSレート】

円貨から外貨に交換するときの為替相場です。

### 【TTBレート】

外貨から円貨に交換するときの為替相場です。

米ドルであれば、TTSレートとTTBレートの差が1ドルにつ  
き2円あります。したがって、たとえ預入れ時と払戻し時の  
為替相場に変動がない場合でも、お客さまに往復の手数料  
として2円分のご負担がかかるため、預入れた時の円貨額  
より払戻す時の円貨額が少なくなり、元本割れを起こすこと  
があります。(米ドルの場合は2円ですが、ユーロは3円、英ポンドは8円、  
オーストラリアドルは4円の差があります。)

お客さまが為替差益を獲得するためには、預入れ時の為  
替相場(TTSレート)よりも、払戻し時の為替相場(TTBレー  
ト)が高い時(円安の時)に円に替えることが重要なポイント  
となります。

※ 当行公示相場は、原則として10万米ドル相当額未満のお取引に適用  
し、テレビや新聞で報道されている為替相場とは異なります。当行公示  
相場は、当行窓口でご確認ください。

10万米ドル相当額以上のお取引については公示相場を適用せず、実  
勢相場を基準にお取引相場を決定いたします。お取扱い通貨国の諸  
事情により外国為替市場が閉鎖された場合等、預入れ、払戻しができ  
なくなることがあります。

## 4. 税金について

### ◎個人のお客さま

・お利息は国税15.315%、地方税5%が源泉分離課税されます。

2037年12月31日までにお受取りになるお利息については、「復興特別所得税」として、所得税(国税)額×2.1%が追加課税されます。

・外貨預金はマル優(非課税)の取扱はできません。

・為替差益は雑所得となり確定申告による総合課税の対象となります。

年収2千万円以下の給与所得者の方で、為替差益を含めた給与以外の所得が年間20万円以下の場合は申告不要です。また、為替差損が生じた場合は、他の雑所得から控除できます。

### ◎法人のお客さま

・お利息については、総合課税が適用されます。為替差益についても総合課税の対象となります。くわしくは、お客さまご自身で公認会計士、税理士にご相談ください。

2013年度税制改正により、2016年1月1日から法人に係る利子割(預金利息等から特別徴収する地方税5%)が廃止となり、国税15.315%が源泉徴収されます。(「復興特別所得税」を含む。)

## 5. 預金保険について

外貨預金は、預金保険制度の対象ではありません。

## 6. 取扱店について

口座開設後のお取扱は当行本支店(インストアブランチを含む)で預入れまたは払戻しができます。

また、ATM並びにインターネットバンキングによる取扱はできません。

## 7. 取扱時間について

### 米ドル建ての外貨預金

銀行営業日の午前10時から午後3時

### 米ドル建て以外の外貨預金

銀行営業日の午前11時から午後3時

## 8. その他

- ◎ 外貨預金のお申込にあたっては契約締結前交付書面をよくご確認ください。
- ◎ 外貨預金のお申込の撤回はできませんが、当行がやむを得ないと認めてお申込の撤回に応じる場合には、当行所定の計算方式を使用し算出した損害金をいただきます。

## 外貨預金の手数料

	預入れ方法	手数料等
預入れ	円現金での預入れ 円預金からの振替	円を外貨にする際(預入れ時)には、TTSレートを適用。TTSレートに含まれる為替手数料は以下のとおり。 1米ドルあたり1円、1ユーロあたり1円50銭、1英ポンドあたり4円、1オーストラリアドルあたり2円
	外貨現金での預入れ	外貨両替業務の終了に伴い、2024年7月1日(月)以降の外貨現金による外貨預金の預入れはお取扱できません。
	ご本人の外貨預金からの振替	ご本人間の外貨預金からの振替は、手数料をいただきません。
	到着した外国送金での預入れ	被仕向送金手数料をいただきます。

	払戻し方法	手数料等
払戻し	円現金での払戻し 円預金への振替	外貨を円にする際(払戻し時)には、TTBレートを適用。TTBレートに含まれる為替手数料は以下のとおり。 1米ドルあたり1円、1ユーロあたり1円50銭、1英ポンドあたり4円、1オーストラリアドルあたり2円
	外貨現金での払戻し	外貨両替業務の終了に伴い、2024年7月1日(月)以降の外貨現金による外貨預金の払戻しはお取扱できません。
	ご本人の外貨預金への振替	ご本人間の外貨預金への振替は、手数料をいただきません。
	外貨での送金に使用	送金手数料をいただきます。

# 外貨定期預金の運用例

●為替相場、利率等の数値はすべて参考値です。

## 満期日以降のお取扱例

その1	<b>解約して円預金へ</b> これまでの運用益を確定します。
その2	<b>解約して外貨普通預金へ</b> さらなる円安を期待して外貨普通預金に入金し、いつでも円に戻せるようにしておきます。
その3	<b>そのまま継続する</b> さらなる円安を期待してドル資産のまま定期預金を継続します。

その1	<b>解約して円預金へ</b> 当分円安を期待できないと判断した場合、損失を確定します。
その2	<b>解約して外貨普通預金へ</b> いまだ円安への反転を期待しながら、円に戻す機会を待ちます。また、将来米ドルが必要などに備えることもできます。
その3	<b>そのまま継続する</b> 損失の確定を避けながらドル資産のまま定期預金を継続し、今後の円安への反転を期待します。

### 円安

満期日のTTBレートが1ドル=151円の場合

〔 公示仲値 1米ドル=152円  
為替手数料 1米ドルあたり1円 〕

**+ 為替差益 11万円**

**140万円**  
(10,000ドル × 151円)

税引後受取額 **1,531,657円**  
円ベース利回り (税引後) **年9.40407%**

税引後利息 21,657円  
(143.43ドル × 151円)

### 円高

満期日のTTBレートが1ドル=135円の場合

〔 公示仲値 1米ドル=136円  
為替手数料 1米ドルあたり1円 〕

**▲ 為替差損 5万円**

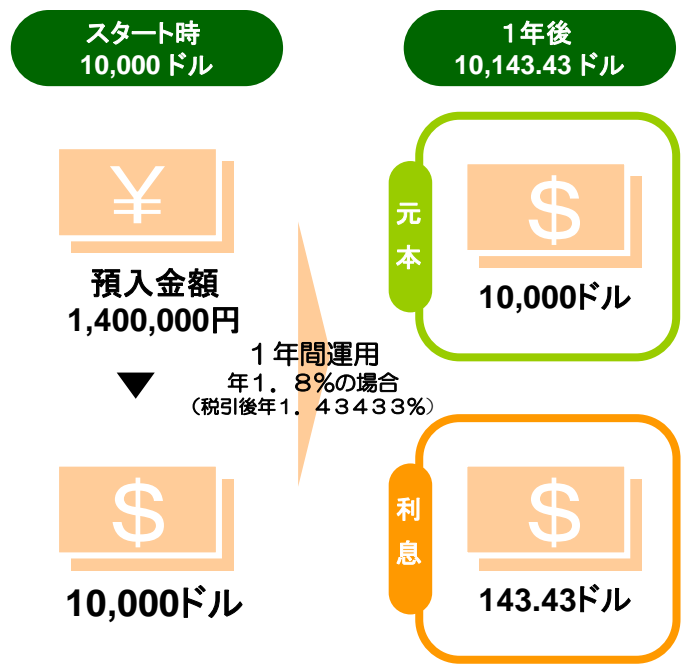
**135万円**  
(10,000ドル × 135円)

税引後受取額 **1,369,363円**  
円ベース利回り (税引後) **年▲2.18835%**

税引後利息 19,363円  
(143.43ドル × 135円)

お預入れ時のTTSレートが  
**1米ドル=140円**の場合

〔 公示仲値 1米ドル=139円  
為替手数料 1米ドルあたり1円 〕



◎お預入れ通貨は、米ドル・ユーロ・英ポンド・オーストラリアドルの4通貨です。  
 ◎預入期間は、1か月、3か月、6か月、1年、1年以内の期日指定です。  
 ◎利子所得に対する課税額を20.315%で計算しています。  
 2016年1月1日から法人利子割(地方税)が廃止されたため、法人のお客さまの源泉徴収税率は15.315%となります。

くわしくは当行窓口またはお客さま相談室までお気軽にお問い合わせください。  
 フリーダイヤル: 0120-87-1090  
 受付時間: 銀行営業日9時~17時